

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願い致します。 お正月は楽しく過ごせましたか?きっと、おせちを食べたりした方もいるかと 思います。お正月に食べたおせち、由来についてご存知ですか? おせちにはそれぞれ、いろんな意味があります。よろしければ、参考にされて みてくださいね。

☆おせちの由来☆

起源は古く、弥生時代といわれています。当時の人々は、作物の収穫を季節ごとに神様に感謝し、生活の節目をつけていました。自然の恵みや収穫に感謝して神様に供えたものを「節供(せっく)」といいます。また、供えたものを料理して、大漁や豊作を願い、自然の恵みに感謝して食べた料理を「節供料理」といいます。この「節供料理」がおせち料理の始まりだそうです。

☆おせちの料理・素材の意味 その 1☆

- ・数の子・・・数の子はニシンの印。ニシン(二親)は印が多い(たくさんの子がでる)ので子宝や子孫繁栄を願う縁起物。
- ・田作り・・・田を作るという由来から。その昔、田植えの肥料に乾燥したいわしが使われていて、いわしの肥料を使った田んぼが豊作だったところから、別名ごまめ(五万米)とも呼ばれます。豊作を祈願する食べ物。
- ・伊達巻・・・華やかさやはでを意味する「伊達」からや、伊達政宗が魚のすり身に卵を混ぜて焼いたものを好んで食べたからなど由来は諸説あるそうです。
 形が巻物に似ていることから文化の発展または、学問や習い事の成就を 願う食べ物。

☆おせちの料理・素材の意味 その 2☆

・黒豆・・・黒色は道教で魔除けの色。この一年まめ(まじめ)に働きまめ(健康)に 暮らせるようにと邪気を払い、無病息災を願った食べ物。

- ・紅白かまぼこ・・・かまぼこの形(半円状)が初日の出の形に似ていることから。 赤色は魔除けを、白色は清浄・神聖を表します。また、紅白で 縁起が良いとされています。
- ・たたきごぼう・・・ごぼうは、地中深く根を張るので、家(家族・家業など)がその土地にしっかりと根を張って安泰にという願いから。また、その色や形が黒い瑞鶏(豊作の象徴)に似ていることより、豊作を願って食べられました。別名開きごぼうともいわれ、運が開くという意味も持っています。
- ・ <mark>栗きんとん・・・きんとんは漢字で金団と書き、その字の通り金の団子つまり金銀財</mark> 宝

を意味し、金運を呼ぶ縁起物。



- ・紅白なます・・・紅白の色は水引を表しており、平安と平和を願う縁起物。
- **・えび・・・腰が曲がるまで長生きしますように。と長寿を祈る食べ物。**



- ・ぶり・・・成長と共に名前が変わる出世魚であることにあやかって、出世を願う。
- ・たい・・・「めでたい」の語呂合わせから。



・昆布巻・・・こんぶは養老昆布=よろこぶで不老長寿とお祝いの縁起物。

「子生(こぶ)」の字をあてて、<mark>子孫繁栄を願うもの</mark>でもあります。



巻物に通じることから、文化の繁栄や学問成就の意味も。